

ことばの暴力に賢く対処する秘訣 詩篇64篇から

ナイフよりも鋭く心を傷つけることばの暴力に、どう対処したらいいのか？

★してはいけないこと3つ

1、すぐ\_\_\_\_\_はいけない

怒りをおそくする者は勇士にまさり、

自分の心を治める者は町を攻め取る者にまさる。箴言16章32節

2、黙して嘆きや怒りを内に\_\_\_\_\_はいけない

民よ。どんなときにも、神に信頼せよ。あなたがたの心を神の御前に注ぎ出せ。

神は、われらの避け所である。詩篇62篇8節

3、自分で\_\_\_\_\_してはいけない

愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せない。

それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。

わたしが報いをする、と主は言われる。」ローマ人への手紙12章19節

★すべきこと3つ

1、すぐ主なる神に\_\_\_\_\_

正しい者は主にあって喜び、主に身を避けます。心の直ぐな人はみな、

誇ることができるでしょう。詩篇64篇10節

2、神に\_\_\_\_\_祈る

神よ。私の嘆くとき、その声を聞いてください。恐るべき敵から、私のいのちを

守ってください。悪を行なう者どものはかりごとから、不法を行う者らの騒ぎから、

私をかくまってください。彼らは、その舌を剣のように、とぎすまし、苦いことばの

矢を放っています。全き人に向けて、隠れた所から射掛け、不意に射て

恐れません。・・・詩篇64篇1-4節

3、神の\_\_\_\_\_

しかし神は、矢を彼らに射掛けられるので、彼らは不意に傷つきましょう。

彼らは、おのれの舌を、みずからのつまずきとしたのです。詩篇64篇7-8節